

競技・審判上の確認事項

競技委員長 佐藤 充昭

審判委員長 小瀧 健二

- (1) 競技はすべて3セットマッチとします。
- (2) 各試合の記録、線審、点示は指定されたチームが担当してください。（別途タイムテーブルに記載）
- (3) 試合開始時刻に15分以上遅れた場合は棄権とみなします。追い込み方式をとりますので、各チームは前試合の進行状況に十分注意してください。
- (4) 申し込み時（期限内の変更分を含む）に登録された18名以内の選手についての変更（登録選手の追加、誤りの訂正も含む）は一切認められません。監督、コーチ、マネージャーについては代表者会議において変更の届け出を受け付けます。登録された18名の中から試合毎に、15名以内の選手をエントリーしてください。各試合の最終エントリー方法は以下のように運用します。
 - ① ベンチ入り最終メンバーの手続きは試合を行うコートの記録席で行います。
 - ② 記録用紙にあらかじめ両チームの大会エントリーメンバー全員を記入しておきますので、チーム代表者はその中からベンチ入りしないメンバーを取り消し線で削除してください。
- (6) 各試合への最終エントリーメンバー以外の者のベンチへの着席や公式練習への参加は禁止します。
- (7) 監督、コーチ、マネージャーは、試合中、それぞれの役員マークを左胸部につけてください。つけていない場合にはベンチ入りを禁止します。
- (8) プロトコールでのトスは、第1試合では競技開始時刻の11分前、それ以降は前試合終了後、10分後に各コートの記録席前にて行います。サービスオーダー票は公式練習終了時までに当該審判員に提出してください。
試合が連続する場合（審判補助役員で試合が連続する場合も含む）は、15分を限度として休息を設けます。
- (9) コートが濡れた場合のワイピングは、コート内の選手がタオルで速やかに行ってください。タイムアウト及びセット間には、ベンチの競技参加者がモップで拭いてください。
- (10) 隣接するコートで試合中の場合は、空きコートでネットを使っての練習を禁止します。
- (11) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首などからはみ出てはなりません。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されません。
- (12) チームメンバーによる軽度の不法な行為は、次のように処置されます。
 - 第1段階：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告
 - 第2段階：競技参加者にイエローカードを示して警告同一チームで不法な行為が繰り返された（3回目の不法な行為があった）場合、それが誰であってもその競技者は反則（レッドカード）の制裁を受け、相手チームにサービス権と1点が与えられます。レッドカード（反則）以降の罰則、退場、失格は同一競技参加者に対する累積となります。
- (13) 選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、十分留意してください。
- (14) 各会場の使用上の注意事項を遵守してください。なお、競技中のガムは禁止します。
- (15) 大会中は新型コロナウイルス感染対策にご理解とご協力をお願いいたします。
- (16) 北海道審判委員会主催の「日B日C審判講習会」を同時に実施します。審判員育成にご理解下さい。